

幼稚園・保育園の 改修事例 2015



地域支援により幼稚園を新設。
開放的で明るい幼児用トイレ

築1960年代の幼稚園・小・中学校一貫教育の古い校舎を
幼稚園・小学校の校舎に建て替え。子どもたちの様子も変わりました。

01: 東京朝鮮第六幼初級学校 (東京都大田区)

成長に合わせて大きさを
変えた大便器や小便器。
小便器の足元には、防臭
効果の高い陶板を採用。
小便器の下に空間がある
ので掃除も楽。



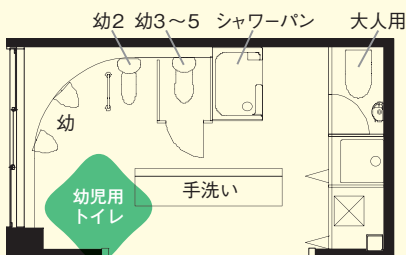
廊下とトイレの床を一体化。限られた空間を広々と見せている。



爽やかなブルーを基調にモザイクタイルを使ったかわいい空間。保護者からの評判もよい。



子どもからは見えないけれど、大人からは見える高さのブース。



限られたスペースに必要な設備を効率よく配置。職員の要望によるシャワーパンは食べこぼしの際などにも重宝。



洗面台の近くには子どもたちの歯ブラシが置かれ、食後は一斉に歯磨きをする。



校舎は日本人との交流の場としても活用されている。

DATA

- 竣工年月 / 2014年8月
- 所在地 / 東京都大田区
千鳥2-3-15
- 児童数 / 19名
(2014年度 幼稚園のみ)
- 施主 / 学校法人東京朝鮮学園
- 設計 / RIN 建築設計事務所
- 施工 / 白石建設

「幼稚園主任・尚明淑さん」
神面により影響を与えました」

在日コリアンの人々にとって学校は教育の場であり、地域のコミュニティの中心でもある大切な場所。新校舎設立にもその思いが込められ、地域の方々から大きな支援が寄せられました。生まれ変わった校舎に子どもたちの表情には大きな変化が。「トイレでは、以前は幼稚園児も大人用の和式大便器を使っていたので、トイレを怖がり、おもしろいをする子どもが多くいてかわいそうでした。子どもにとって怖い場所が一つでもあると大きな心の負担になります。今はそれがなくなり、おもしろもゼロに。建て替えは子どもたちの精神面によい影響を与えました」

おもしろをする子が
一人もいなくなった